

## 特記仕様書

本特記仕様書は、「通信指令システム更新整備業務委託システム調達仕様書・保守仕様書」で定められていない項目を記載するものである。

### 第1 プロポーザル評価の方法

調達仕様書に定める基本要件に加え、プロポーザル方式において各提案者が遵守すべき「最低限更新が必要な項目」と、独自の技術や知見を用いて競い合う「提案を求める項目」を明確に定義し評価する。

#### 1 最低限更新が必要な項目

通信指令システムの確実な更新と安定稼働を確保するため本事業において必ず実装・実現しなければならない要件であり、予算上限額内に確実に含めること。

#### 2 提案を求める項目（重要提案事項）

上記更新必須要件を満たした上で、予算の範囲内で、本市の抱える課題解決のために各社の最新技術や知見を活かして最大限の導入効果を図る事項。

##### (1) 通信指令システムに関すること

###### ア 119番受信体制の強化

(ア) 高所監視カメラの高機能化に関する提案がされているか。

⇒・ AI等活用した火災を早期発見できる提案が示されていること。

・ 人の出入りが少ない山間部を含め、市内全域が監視できる最適なカメラ台数、設置場所が具体的に示されていること。

(イ) 増大する消防需要への対応に有効な機能が示されているか。

⇒・ 音声認識による文字起こし機能の提案が示されていること。

・ 文字起こしした内容が各出動車両にも共有することができること。

・ 文字起こしした内容から災害地点決定支援ができること。

###### イ 大規模災害に備えたバックアップ機能の強化

非常用通信指令システムを使用し迅速に119番受信体制を維持できる仕組みとなっているか。

⇒・ 地震等で指令室倒壊など使用不能になった際、迅速に119番受信体制の構築がされていること。

(2) システム保守に関すること

ア 保守体制・初動対応評価・サービス内容

システム納入後の保守体制，初期対応計画，サービス内容について示されているか。

- ⇒ ・ システムを長期（10年間）に渡りに安定稼働を可能とする方策が提案されていること。
- ・ 障害発生時の早期復旧のための体制や方策が具体的に提示されており，迅速性かつ確実性が担保されていること。

イ 財政負担を考慮した保守費用

導入後10年間で必要な保守・中間更新・消耗部品交換費用について具体的に示されているか。

- ⇒ ・ 10年間の保守費用（中間更新含む）の低廉化について，今後の物価高騰対策として有効な汎用性を持たせた部品の採用など具体的な方策と実態に即した適正な価格が示されていること。
- ・ いかなる場合においてもシステムの安定稼働が図れるよう，具体的な提案（汎用性のある部品の採用や技術者の確保等万全な保守体制の確保など）が示されていること。

以上